

Q30**入れ歯を洗うときに歯磨剤を使ってもよいのでしょうか？**

入れ歯（義歯）は合成樹脂でできています。歯磨剤に含まれる研磨剤の働きによって入れ歯に傷がついたり、摩耗して変形してしまうことがありますので、歯磨剤の使用は避けましょう。入れ歯の傷ついたところには細菌が付着しやすく、義歯臭や口臭の原因になります。

入れ歯の汚れや臭いなどが気になるようでしたら、入れ歯専用の洗浄剤がありますので、指示に従って使うようにするとよいでしょう。

Q31**子どもに洗口液（剤）を使わせてもよいのでしょうか？**

ブクブクうがいができ、洗口後の吐き出しができるようになれば使用しても問題はありません。しかし、使用量については考慮する必要があります。最近では子ども用のものも市販されていますので、それを使うことをお勧めします。

Q32**歯垢染め出し剤を家庭で使うことはできますか？**

歯垢染め出し剤として市販されています。液体であれば、綿棒につけて歯の面に塗ってください。

染めたあとに一度うがいをして、濃く色がついたところがプラーク（歯垢）の残っているところです。

Q33**歯垢染め出し剤の種類と、染め出しの方法を教えてください**

歯垢染め出し剤は、歯と同じような色をしているプラーク（歯垢）を赤く染め出し、ブラッシング前は汚れの確認に、ブラッシング後は磨き残しや磨き癖などを知るのに用いられます。染め出し剤の色素には、食品添加物として認められているフロキシシン（赤色 104 号）などが使われています。

染め出し剤の形状には錠剤と液体（ゲル状も含む）があります。

錠剤は、噛み砕いて唾液中に溶かしたあと、舌で歯全体に行き渡らせるようにします。扱いがむずかしいため低年齢児には向きません。

液体は、小綿球や綿棒に液を浸し、歯面に置く（こすらない）ようにして塗布します。ジェルタイプの場合は歯ブラシにつけて塗布することもできます。歯と歯肉の境目（歯頸部）や歯と歯の間（歯間部）、白歯の咬合面はとくに意識しましょう。染め出しをする際は、事前に、口唇にワセリンやリップクリームなどを薄く塗り、衣服につけないように注意します。塗布するときは、白歯部の後方から手前に、最後に前歯部を塗布するよ

うにするとよいでしょう。液体のほうが錠剤に比べて、プラークの染まり方が良好です。どのタイプも染め出したあとは水で 1~2 回軽くうがいをします。歯磨剤に色素が添加されているものもあります。

Q34**夜、入れ歯を外して寝るのはどうしてですか？**

入れ歯（義歯）を入れたままにして寝る人をよくみかけますが、就寝時には外すようにしましょう。入れ歯を入れたままにしておくことと口腔の不潔状態をまねいたり、組織が圧迫されて血行が悪くなり、口臭や褥瘡性潰瘍などの発生原因となるので注意しましょう。また、外した入れ歯は、水を張った洗面器などの上で（入れ歯を落としたときに破損や変形を起こさないようにするため）、清掃用具を用いてよく清掃し、乾燥しないように水を入れた専用の容器に保存しましょう。

入れ歯の材料のレジン（ピンク色をしたところ）は吸水性があるので、乾燥すると変形を生じ、入れ歯がうまく入らないなど適合が悪くなったり、ひびが入ったりすることがあります。

Q35**入れ歯洗浄剤は使ったほうがよいのでしょうか？**

入れ歯（義歯）は、水道水の流水下で、歯ブラシなどを使って清掃しますが、それだけでは十分ではありません。化学的な洗浄剤などを使うことで、カンジダ菌などによる炎症を防ぐことができます。できれば毎日使用することをお勧めします。

いろいろなものが市販されているので、説明書をよく読んで使いましょう。洗浄剤のなかには、長時間浸しておくことと入れ歯の変色や金属部の腐食を起こすものもあるので注意しましょう。疑問な点は歯科医師や歯科衛生士に相談してください。

Q36**PMTC とは何ですか？**

PMTC とは、Professional mechanical tooth cleaning の略で、歯科医師や歯科衛生士が口腔管理の一手段として行う専門家による歯面清掃をさします。PTC（Professional tooth cleaning）の一部で歯と歯の隣接面（歯間部）など、日常的なセルフケアでは管理しにくい歯面の付着物を機械的な操作によって除去し、コントロールしようとするものです。歯周病の予防・管理の重要な処置として位置づけられています。

PMTC は、フッ化物添加の歯面研磨剤を用いて、歯面研磨用具や専用のキット類などを使って行います。